

『高3生～大学受験の勉強法（全般）』



1 大学受験に向けた勉強をスタートする時期

「早ければ早い方がいい!!」

「最低でも高2の秋から意識して始めよう!!」

◎大学受験は1年以上かけて勉強するものです。もちろん、自分の偏差値と志望校の偏差値の差にもよりますが、一般的に大学受験に向けては1年以上の期間は必要です。

「それだけ勉強量が多いということです」



2 勉強法と勉強時間について

<一応の目安> ～勉強時間

- ・ **難関大学を目指す人**
～平日4～5時間、休日8時間
- ・ **中堅国公立大や私大を目指す人**
～平日3～4時間、休日6時間
- ・ **一応大学受験を目指す人**
～平日1～2時間、休日3時間

これは、あくまで平均の勉強時間です。
夏休みや冬休みといった長期休みは、1日10時間を超えて勉強する人もかなりいます。

質の高い勉強をしよう。とか、効率的に学習する。とか言う前に、実質的な勉強時間を確保していなければ、第一志望校合格を達成するのはかなり難しいでしょう。

〔それだけ大学受験は甘くないということです〕

3 大学受験に向けた勉強法（基礎編）

まず「どのレベルの大学を受験したいか」によって、勉強の仕方は変わってきます。しかしながら、基礎的なものをすることは皆同じです。以下に記します。

大学受験に向けた勉強法（基礎編）

・ 単語 ・ 文法 ・ 語彙 ・ 基本例題

※つまり「暗記系」を徹底的にやること。



これを徹底的にやり込むことが、大学受験に向けた勉強の第一歩です。

英単語や英文法、古文単語や古典文法、数学の公式や物理の公式の暗記、歴史の語彙、さらにこれらを使った基礎的な問題を解いて下さい。

受験に失敗する高校生は、だいたい基礎が固まらないのに難しい問題ばかりやっていたり、勉強期間が少なくて固まる前に受験を迎えてしまったりする人が多いです。



3 大学受験に向けた勉強法（応用編）

さて、基礎編でお話した「暗記系」が固まったら次は応用編のスタートです。基礎編が“暗記”であれば、応用編は“演習”です。つまりアウトプットです。

大学受験に向けた勉強法（応用編）

・ 過去問 ・ 模試 ・ 長文読解（英・国）

※自分が持っている知識でどれだけ通用するか

※ということのチェック。

過去問も模試も長文も、全てインプットした知識を使ってアウトプットする練習です。

インプット→アウトプット→分析→インプット
→アウトプット→分析 . . .

これを繰り返していきましょう。そうすることと自分の行きたい大学の合格がグングンと近づいてきます。

※当校は定期的にまた随時に個別面談を実施しています。
～ご活用下さい。



一橋総合予備校 教務課
0120-845-010